



JASWHS 公益社団法人 日本医療社会福祉協会
Japanese Association of Social Workers in Health Services

東京都新宿区住吉町8-20 四谷チンゴビル2F

災害対策本部 (03) 3351-5038 アドレス dsstsw@jaswhs.or.jp



<目次>

1. 重要なお知らせ
2. 災害支援活動協力員募集と寄付金等のお願い
3. 災害対策本部会議・ボランティア報告会の予定
4. 石巻・現地情報
5. 仮設住宅における医療福祉相談会の報告
6. 現地支援活動報告
7. 現地・事務所ボランティアの感想文



1. 重要なお知らせ

石巻現地事務所に常駐のソーシャルワーカー急募！！

ボランティアのソーシャルワーカーはこれまで通り、平日3名、週末4名を募集し派遣を継続します。そのコーディネーター的役割を含む、現地活動の中心となる方です。

「平日滞在し、週末は自宅に戻る」など体制については相談可能です。

あなたの能力を、一時期でいいので災害ソーシャルワークに投入し、東北の復興に貢献していただけませんか？！

また、お近くに適任の方がいたら、ご推薦いただければ幸いです。

***詳細はホームページでご覧下さい。**

<連絡先>

災害対策本部 月～金：10:00から17:00 土：10:00～12:00

TEL：03-3351-5038 FAX：03-5366-1058 Mail：dsstsw@jaswhs.or.jp

担当：日本医療社会福祉協会 事務局長 中川

日本医療社会福祉協会 災害対策本部 一原 取出

2. 災害支援活動協力員募集と寄付金等のお願い

① 支援活動協力員登録人数（11月24日（木）現在）

- ・ 現地支援活動協力員 : 182名（参加者延べ人数：846名）
- ・ 事務所支援活動協力員 : 92名（参加者延べ人数：465名）

皆様お忙しい中のご参加で人員が不足しております。ご協力頂ける方は下記までご連絡下さい。

災害対策本部（03-3351-5038 又は dsstsw@jaswhs.or.jp） 平日・土・祝 10～17時

※メールでご連絡の際は、件名に「(現地)または(事務所) 災害支援活動協力員希望」とご記載下さい。当会ホームページに[現地ボランティア応募フォーマット](#)が掲載されています。

11月のボランティアカレンダー

(11月24日現在)

日付	事務所	現地	日付	事務所	現地	日付	事務所	現地
1[Tue]	○	○	11[Fri]	1	3	21[Mon]	1	2
2[Wed]	1	○	12[Sat]	1	○	22[Tue]	2	2
3[Thu]	1	○	13[Sun]	休	○	23[Wed]	1	○
4[Fri]	1	○	14[Mon]	1	○	24[Thu]	1	○
5[Sat]	○	2	15[Tue]	1	2	25[Fri]	1	○
6[Sun]	休	2	16[Wed]	1	2	26[Sat]	1	○
7[Mon]	1	○	17[Thu]	1	1	27[Sun]	休	○
8[Tue]	1	○	18[Fri]	1	○	28[Mon]	1	1
9[Wed]	1	1	19[Sat]	1	1	29[Tue]	○	1
10[Thu]	○	1	20[Sun]	休	1	30[Wed]	○	2

*数字は必要な人数・○は足りていることを表す。

② 寄付金の振込口座：郵便振込口座

皆様の協力をお願い申し上げます。

口座名義 : 日本MSW協会災害支援金

口座番号 : 00100-1-89515

支店名 : 〇一九(ゼロイチキユウ)店(019)

口座種別 : 当座

※他の金融機関からお振り込みいただく場合には下記のようにお願いします。

ゆうちょ銀行 口座種別 : 当座預金 支店 : 〇一九(読み方:ゼロいちきゅう)店

口座番号 : 89515

備考 : お振り込みいただく金額に制限はございません。

ご自分のお名前とご連絡先をご記入ください。

お振込手数料は、各自でご負担ください。

*寄付の用途は、当協会の行う東日本大震災災害救援活動に使うことが決定しています。

③ 活動内容の掲載について

石巻以外の地域で活動している方や被災者を受け入れている機関などの活動を本紙に掲載したいと思います。ご協力いただける方は[災害対策本部](#)までご連絡ください。

3. 災害対策本部会議・ボランティア報告会の予定

災害対策本部会議：12月1日（木）

本部のメンバーで今後の方針等を話し合います。決定したことは皆様にご報告させていただきます。

ボランティア報告会：1月開催予定

12月13日（火曜日）19時～開催予定のボランティア報告会は災害対策本部の都合により、1月に順延します。内容は9月まで現地責任者として活動された草水美代子氏と、10月・11月に活動された佐藤杏氏より、それぞれの活動を総括して報告していただきます。

これから参加を考えている方、関心のある方は、ぜひご参加下さい。

また、最近参加され活動報告をして頂ける方がいらっしゃいましたらぜひお越し下さい。

4. 石巻・現地情報



① 石巻での活動内容 ※状況によって内容変わります。

- ・ 仮設住宅の巡回及び入居者の相談支援
- ・ 遊楽館を退所した方のフォローアップ
- ・ 地域の保健医療福祉機関のニーズ把握と対応
- ・ 福祉関係職種との連携と協働（カンファレンス等）
- ・ 経過サマリー作成業務
- ・ 在宅医療を担う医療機関との連携
- ・ 茶話会（医療福祉・生活相談会）の開催及び準備

② 宿泊場所 *11月中に石巻市内に移転予定となっています。

大崎市古川の2LDK マンション。

* JR 東北新幹線 陸羽東線 古川駅より徒歩約9分

③ 現地移動車両

ガリバーインターナショナル社様のご厚意により、当会へ自動車を1台貸与していただいています（保険や車検関係はガリバー社が負担してくださっています）。

現地ボランティアの皆様の足としてご利用いただけます。

車種：トヨタ「イスト」 ナンバー「野田 501 ち 3967」 銀色

④ 携帯電話

ソフトバンク様より、当会へ20台の災害用電話の無料貸し出しをしていただいています。

現地および、協会本部はソフトバンクの携帯電話を利用しています。

5. 仮設住宅における医療福祉相談会の報告

現地担当者 一原 綾子

11月19日・20日に7回目の仮設住宅における医療福祉相談会を実施しました。

今回は2日間で3か所を回りました。

この地区は同じ地区出身の方が集まっており、被災前からの近所づきあいが継続され、活気があふれていました。茶話会への参加も互いに声を掛け合い、お惣菜や商品の海苔を差し入れて下さったり、談話室に飾るお花を切ってきて下さったりと、積極的に参加して下さいました。また皆さん養殖の仕事が続けており、仕事があることは精神的な安定に大きく寄与しているように見受けられました。今回まで開催してみて、この相談会／茶話会は、団地の規模や住民の構成（同地区出身か否か）によって、雰囲気もニーズもかなり異なることがわかります。今後この事業をどのように行っていくか検討が必要だと思われました。



配布したチラシ&ポスター



茶話会の様子



会場の様子



会場の様子

6. 現地支援活動報告

山浦 美和子（国立病院機構西群馬病院）

期間：11月12日～11月14日

今回が初の災害ボランティア参加で、現地ではどのような活動をするのか不安や心配等ありましたが、現地で継続的に活動して下さっている佐藤さんや一緒に活動して下さった皆さんに引っ張っていただき、無事3日間の活動を終わらせることが出来ました。今回は茶話会への参加が主な活動でしたが、仮設住宅によって随分雰囲気が違うということをととても感じました。入居して数か月、同じ団地の方々を集めて催しをしている団地があれば、未だに他の入居者のことをよく把握できていない団地があったり。それぞれ抱える問題やニーズが全く違うということを痛感しました。また、茶話会の中では被災当時の話やその後の生活について当事者の方の話を直接聞くことができました。今日に至るまで様々な思いを抱き生活してきた方々になかなか返す言葉が見つからない茶話会でしたが、とても貴重な話だとじっくり耳を傾けてきました。

短期間の活動でしたが、始まったばかりのこの茶話会が今後入居者同士の絆をさらに深めていくきっかけになればいいと思いました。

須藤 由女（国立病院機構沼田病院）

期間：11月12日～11月14日

初めて災害支援ボランティアに参加させていただきました。活動の中心となった茶話会の中では仮設住宅に暮らす方々と交流し、被災当時の話やその後の生活についてお話を伺うことができました。冗談や笑い声が混じる中、時には声を震わせながら語る場面もあり、今日に至るまで大きな感情をひとりひとりが抱えておられたことを痛感しました。当協会が主催する茶話会はまだ始まったばかりですが、第三者が現地の方々の生活の場に入っていくことの意味を改めて考える機会となりました。また、地震の影響が未だに大きく目に見える町があれば、すぐ隣には震災の跡をほとんど感じさせない町があるなど、生活に大きな差がある事を感じました。この感情を風化させないことも大切であると感じました。

初めてのボランティア参加ということもあり緊張や不安が大きくありましたが、現地で活動をされている佐藤さんや一緒に活動した皆様に支えていただき、無事3日間の活動を終わらせることが出来ました。3日間の経験を反芻し、整理して、自分の糧にできたらと思います。ありがとうございました。

伊藤 裕二（渋川総合病院）

期間：11月18日～11月20日

今回、遊楽館閉鎖後初めての現地での活動です。1日目は、次回茶話会会場の確認と、午後は祐ホームクリニックの方と市民相談センターと法律相談所を訪問しました。相談内容は震災前との生活環境の変化（住居、経済面他）により、震災前とは違う状況も生じているようです。たとえば、支援金などの一時的収入がアルコールやギャンブル依存につながってしまったり、社宅に居住していた場合、改修等のため立ち退きを要求されたりと特徴的なものがあるそうです。

2日目3日目は、3か所で茶話会を行いました。それぞれの地域で状況が違うことは、既に参加された方から聞いていましたが、仮設団地に伺ってみると、元々同地域の方が入居されている場合と別の地域である場合とでは空気の違いがはっきりと感じられました。共通しているのは、地区毎に話し合う必要性は感じているが、その機会を作りにくいということです。団地内に中心的存在の有無によっても違うようです。効果的な方法を見出すこともこれからの課題かと思えます。3日目の茶話会では、偶然群馬県（渋川市社協と一般ボランティア）の方が炊き出しにいらしており、同地区自宅生活者の方々の協力もあり、たくさんの方が集まっていました。元気に駆け回る子供たちがとても印象的で、一緒に遊んでしまいました。

仮設住宅で生活している方から、現在の生活のこと、被災当時のことなど直接お話を聴くことができ、また、7か月ぶりに現地を訪れ、いまだ痕跡が色濃く残る地域を見て、やらねばならない事はまだまだたくさんあることをあらためて感じました。現地や対策本部で継続的に活動されている協会の方々、その他ご尽力の方々に敬意を表するとともに、自身も出来る限りのことをしていきたいと月並みながら強く感じた次第です。

井関 麻都香（相模原ロイヤルケアセンター）

期間：11月19日～11月20日

今回2回目の参加をさせて頂きました。

前回参加させて頂いた時より道が舗装されていたり、営業されているスーパーなどがあり、少しずつ日常生活が取り戻されつつあるのだな、という印象を受けました。ただ、海のある方へ近づくと、家屋は震災の爪痕を残したままの状態、今後町はどのようになっていくのか、イメージがつきませんでした。

仮設住宅の談話室で開かれた茶話会に参加し、仮設住宅に住まわれている方々のお話を伺いました。「このような集まりをしたのは初めてだ」・「表札が無いから誰が住んでいるかわからない」というお話があり、仮設住宅における横のつながりを作っていくことの必要性を感じました。また、ゴミ出しのルールが守られていない団地からは「ゴミだしのことをこのような機会に話し合えば良かった」という話があり、仮設住宅で生活する上でのルールを話し合う必要があることに気づかされました。仮設によって、それぞれ特徴がありましたが、顔の見える付き合いをしていくことが、生活するうえで大切であり、今回のような災害後に今までの付き合いが生きてくることを実感しました。

7. 現地・事務所ボランティア感想文

現地・事務所ボランティアの思いや業務のことなど・・・一読ください。

～現地から～

11月14日（月）

本日も群馬組に協力して頂き、分担で業務が進みました。昼過ぎまで、私は訪問相談、山浦さん・須藤さんに新事務所兼宿舍の地図作成のための現地確認をお願いしました。15:00 過ぎに事務所に戻り、2人に地図作成を任せ、私はさまざまな資料や記録作成に集中できました。そして出来上がった「事務所兼宿舍への道順」の地図！これからのボランティアさんの大切な資料になります。先週の児玉さんが道順を確認してくださり、本日二人がそれを再びなぞり、写真つきの地図に落とししてくださいました。ケースに対するバトンリレーだけでなく、一人一人の得意なことを活かしながら、協会事業として継続できる体制を作り上げていることが実感できてとても嬉しく感じました。同時に、これどうやってやったの?! という素晴らしい地図を短時間で作り上げてくださった、2人に驚き、感謝しています。

11月15日（月）

今日は久々に個別面接が続きました。それぞれの方々が覚悟をもって今後について考えている様子が伝わってきます。そして、私たちができる支援として、当たり前のことですが、社会とのつながりを作るといことが大切だと感じました。それが生活として定着されていくように地元の関係機関との連携や協働をするんだと思います。

11月16日（水）

今日は関東でもこの冬一番の冷え込みだと聞きました。当然東北も着実に冬に向かっていく感があります。日中でも8℃・・・夜は道路脇の電光掲示板に「凍結注意」の文字が！その時は3℃です。いよいよ冬支度も本格的にします。来週の引っ越しの際に、お願いしていきます。

石巻圏域の地域連携実務者ネットワーク・・・有志の会と伺いましたが、SW や連携業務に携わるNs が20名前後参加されていて、日赤病院のファシリテートのもと、有意義な会でした。消極的な後方支援では

なく、地域のSW との対話をもとにうまく活用してもらえそうな支援の在り方を、探っています。今後のケース数増への対応ができるよう協会としてもボランティア体制を検討したいです。

11月17日（木）

日中は、強風で体感温度も低く、寒い一日でした。夕方には一原さんが来てくれて、一緒に祐HCでのカンファレンスに出向きました。仮設住宅での支援は広く知られていますが、在宅で生活している方の支援はまだまだこれからで、市健康推進課もこのプロジェクトに今後取り組んでいくようです。その中でSWへの期待は大きいです。常勤者1名体制ではいよいよ厳しくなってくると思います。

11月18日（金）

本日、石巻市市民相談センター（石巻市福祉部）と石巻法律相談センター（仙台弁護士会）にご挨拶に伺いました。市民相談センターでは主にDV・虐待・母子・青少年・消費生活・多重債務、法律相談センターでは離婚・相続・消費生活・多重債務などの相談を受けているとのことでした。今後このような相談を受けた場合に、紹介させていただいたり、連携させていただくことをお願いしました。当協会を始め、震災後入ってきている多団体とうまく協働してやっていきたいとの意向が聞かれました。

11月20日（日）

今日の石巻はとても暖かく過ごしやすいお天気でした。茶話会も炊き出しと合同で、とても賑やかでした。明日は今日より10度以上も低い予報で、何だか調子がくるいますが、防寒対策をしっかりと週末の相談会のポスティングに行ってきたと思います。

～事務所から～

11月16日（水）

芦田（初台リハビリテーション病院）

今日はボランティア保険の手続きがあり、事務所で
の作業が思うようにはかどりませんでした。明日の
中山さんにしっかり申し送りします。

11月18日（金）

笹川（初台リハビリテーション病院）

電話の問合せが少なかったので事務作業に没頭しま
した。ふと気がつくともうお昼・・・申し送らなれば
いけないことも沢山ありますが、少し整理が進んだ
かな・・・と思います。

11月19日（土）

中山（初台リハビリテーション病院）

昨日笹川さんが必要な手続きなど全て終わってくださ
ったので、今日は12月分の現地ボランティアカレン
ダーやボランティア報告会の名簿チェック表などを
つくることができました。